



# 両津中学校だより

教育目標 「あるべき生き方を学ぶ生徒」

No.30

TEL : 0259-27-2185

FAX : 0259-27-2186

E-mail : [ryoutsu-js@sado.ed.jp](mailto:ryoutsu-js@sado.ed.jp)

平成29年7月24日 発行

## 夢 の 実 現

校長 和田大二

中学生の中でどれくらいの人が、将来の自分の生き方について考えているのでしょうか。漠然とした希望職種は言っても、それを実現させるためのプロセスまで考えている人は少ないように思います。最近話題になっている14歳のプロ棋士 藤井聡太四段のような人は例外であると思いますが、ずば抜けた才能と努力の証は、周りの人に勇気と希望を与えます。

日本の若者の現状について、ある調査によると自己肯定感が他の国に比べて低いという結果が出ています。「現在の自分に満足している」と答えた割合が、アメリカが86%、韓国が72%、日本が46%という数字が出ています。また、「つまらない、やる気が出ない」と感じている割合は、アメリカが49%、ドイツが45%に対して日本は77%でした。この数字は、日本の中高学生の現状に近いと考えられますし、両津中の現状もこれに近い気がしています。

ではどうすればよいか。その答えは、自分の良い面を見つけ、やる気を出させるしかないと考えています。自己肯定感は成功体験によって育まれます。人から褒められる。努力したことに対して成果が出た、この経験の積み重ねが心の成長に結びつきます。逆に常に叱られていては自己肯定感は育ちません。また、やる気も自己肯定感に強く影響を受けています。人には「やる気スイッチ」があるとされています。成功体験や目標が明らかになったときに入るスイッチです。ただし、何も努力しないと入らないスイッチでもあります。学校の教育活動は、このことを意識して生徒の自己肯定感を育てる努力をしています。

さらに、学ばなければいけないこともあります。「キャリアプランニング能力」です。夢の実現のためにはこの力が必要です。将来の目標やゴールを設定することは重要です。どんな仕事に就きたいかではなく、どんな生活を送りたいかを考える力です。自分はどうか、どうなることが嬉しいかを考えることが大切になってきます。

もちろん、仕事について考えることも重要です。自分が目指す仕事に就くために必要な資格やプロセスを調べることや、収入や勤務条件などなど具体的な情報を入手し整理する力をつけることが求められています。中学生にはまだ早いと思いがちですが、決して早いことはありません。今の社会は情報がとても重要です。中学生も自分の将来について情報を集め、考える時間をもって欲しいと考えています。この夏休みに、親子でじっくり考えてみるのもよいと思います。

### 《2年生職場体験活動より》



## 『地域懇談会』（7月10日～14日）

PTA地域委員会が中心となり、「地域懇談会」が行われました。昨年までは、小中合同で行いましたが、本年度は中学校単独で開催しました。当日は、保護者・児童委員（主任・民生）・学校職員が各小学校単位で集い、学校の取組や現状報告、そして、子ども達の健全育成のための情報交換をそれぞれの立場で話し合いました。

先日、PTA理事会（7/19）で各会場毎に報告され、成果と課題について話し合われました。「地域懇談会」は、学校の様子を直接聞ける場であり、保護者間や地域とのつながりを深める場となっている。課題としては、地域により参加意識に差があり、全体の参加率が伸びないことでした。

「子どもは地域の宝」です。各家庭の将来及び地域の担い手として、しっかりと育てる必要があります。今の取組が未来を創ります。子どもの幸せを願いながら、保護者・地域・学校が連携協力のネットワークを強化していくことが大切だと考えます。今後ともよろしく願いいたします。

### 【話し合いの様子（記録から）】

※1 保護者数には他地区オブザーバー参加も含まれています

※2 参加率には、オブザーバー参加数は含まれていません

#### 7/10 吉井地区＜参加率…約71%＞

（参加者：教職員9名、民生児童委員2名、保護者13名、PTA会長1名）

##### 保護者・民生児童委員より

- ・学校からの情報が少ない。
- ・学校で起きた内容を保護者に伝えて欲しい。
- ・自学をやるように学校で課題を出して欲しい。
- ・授業で分からない生徒を減らして欲しい。
- ・子どもだけの飲食店利用は禁止されているが、新潟へ行ったときはどう考えれば良いか。

#### 7/12 加茂地区＜参加率…約23%＞

（参加者：教職員8名、民生児童委員10名、保護者10名、PTA会長1名）

##### 民生児童委員より

- ・家庭学習は親の責任、親子で一緒に取り組まなければならないが、学校から文書等をだして何かできないか。
- ・今回の懇談会に来ていない保護者に話しあった内容を聞かせてあげたい。
- ・5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を保護者が子に責任を持って教える。
- ・中学生は反発する時期である。家庭ではお金で物事をつらないようにする。すぐにお金でつらない。
- ・夏季休業中は家庭にいる時間が長く、保護者がよく見なければならぬ、学校に行きたくないが始まるのではないか。いたずら・不良が増えるのではないか。その対策として行事等はできないのか。秋頃にはと犯罪が多くなるので注意が必要。
- ・学年の懇談会等で来て欲しい保護者は地域の懇談会にもでない。子どもが手紙を渡していない場合もあるため、連絡網などの活用をしてはどうか。
- ・海で遊んでいる時に声をかけた、元気な声で挨拶をしてくれた。（まだ海に入っては行けない日）

##### 保護者より

- ・懇談会等に出ない人はこの先も出席しないかもしれない。地域の方々から子どもたちの良いところを学校に伝え、学校から子どもたちに褒めて欲しい。
- ・校外で体操着の中学生を見かけたら声をかけて欲しい。「見られている」という意識が付き、悪さの歯止めになる。
- ・学習面にしても、生活面にしても、基本は家庭のしつけだと思う。

### 7 / 1 3 (木) 河崎・両尾地区<参加率…約31%>

(参加者：教職員8名、民生児童委員5名、保護者9名、PTA会長1名)

#### 民生児童委員より

- ・両尾は地域毎離れているため、子どもの安全対策が必要。
- ・言葉遣いが良くなく、相手を傷つける
- ・ITについてもトラブルが多い。
- ・家庭だけで教育できる時代ではない、みんなで話し合うのは
- ・スクールバスをこの地区には出せないのか。

#### 保護者より

- ・夏休みの部活動の時だけ、自転車通学の許可はできないか→手続きをする。
- ・定期バスについて、バス停の改善、運行時刻について、スクールバスを要望→市教委に確認をする。
- ・生活の基本的な部分は指導もらいたい

### 7 / 1 4 (金) 両津地区<参加率…約20%>

(参加者：教職員7名、民生児童委員5名、保護者11名、PTA会長1名)

#### 事前に話し合いたいこと・確認したいこと・地区で危険なところ

- ・夏休みに向けて、体育館等の公共施設、商店街、海岸から苦情等はないか。  
→体育館等は挨拶をすることを指導してある。その他から苦情はない。
- ・夷商店街で自転車に乗っている生徒がスピードを緩めず、危ない。(民生児童委員より)  
→アーケードのところは自転車を降りて通行することを指導してある。
- ・花火を扱う時期になる。祭りで大量に仕入れている。以前、けががあったため危険な遊び等につながらないように家庭でも指導していただきたい。
- ・住吉の海岸線で、防風林の枯れ葉で火災があった(約20mの範囲)
- ・原黒のホテルとき跡地で子どもが探検している。中が崩れそうで危険なため、家庭でも声かけをする、見かけたら声をかける。

#### 民生児童委員より

- ・子どもの減少により、関わりが少なくなってきた。小学生では地域行事に参加して会うが、中学生には会わない。学校の課題や問題を情報提供していただければ必要な機関につなげられ、良い方向に向けられる。
- ・下校時に坂を降りたときに横に広がっている。

#### 保護者より

- ・両津中学校の生徒は、自校の様子しか知らない。社体などで他校と交流している生徒は「これが普通ではない」「このままではいけない」と自覚してくる。他校の様子を聞かせてあげたい。刺激となる。
- ・懇談会のように共通のものをメール配信して欲しい。(登録している保護者は3割程度)
- ・もっと地域で子どもの面倒を見てあげなければならない。懇親会・顔合わせ会などを作り、学年を通り超して保護者同士の関わり合いが必要。何か起きたときに他人事のように思わないようにしていく必要がある。

#### 全体で共通して言われていること

- ◆地域で声をかける・挨拶をすると元気に挨拶を返してくれる。
- ◆校舎を回ると少しは落ち着いて良くなったような気がする。
- ◆登校の服装について確認。
- ◆地区懇談会に参加する保護者が少ないところと多いところがあるため、手立てが必要。
- ◆地域で子どもに関わる必要がある。

## 両津杯(7/21)

生徒会が企画運営した『両津杯』が行われました。各学級単位で「バレーボール」「ドッジボール」「ババ抜き(トランプ)」「UNO(カード)」の4競技に参加し、熱戦が繰り広げられました。下級生が果敢に上級生に挑戦したり、タイムアップぎりぎりまで勝負にこだわったりする姿がたくさん見られました。一部、勝負にこだわるあまり、審判や相手に詰め寄る姿がありました。結果を受け止め、正々堂々とした態度を学ぶ場でもあります。何事にも一生懸命に取り組み、終わったときには互いに相手の頑張りを讃え合える姿こそ素敵でカッコいいと思います。今後に期待します。



## 1学期終業式(7/24)

<発表文抜粋>



1年B組 鴻江翔伍 君

テスト勉強を始めるのが遅かった。2学期は計画的に取り組みたい。学校のルールを守っていききたい。部活では、積極的に準備や片付けをしていききたい。2学期は、体育祭の応援団幹部としてみんなを引っ張っていききたい。



2年A組 兵庫総太 君

授業では、教科書などの準備をしっかりとし、ノートをきれいに書き、考えたことも書き込みました。部活動では、休まずきっちりと取り組みました。夏休みは、部長として、しっかりと指示が出せるよう頑張りたい。



3年B組 山本翔琉 君

部活動では、部長としてみんなを引っ張った。全国を目指したが県ベスト8だった。この経験を次の活動に生かしたい。学習面では、集中して授業に取り組みたい。2学期は体育祭があります。総合優勝できるように頑張りたい。

## 県総体(7/22・23)

- ◇ バスケットボール男子 … 1回戦突破、2回戦惜敗 ; ベスト8
- ◇ 陸上競技 … 野澤 克仁 男子走高跳 165cm ; 15位  
菊地真里伽 女子砲丸投 990cm ; 12位  
藤井 彩花 女子走高跳 予選敗退
- ◇ バドミントン … 鴻江翔伍・大山翔愛ペア ; 3位(北信越大会出場)

※前号(No.29)で、市内大会(6/7・8)の卓球女子入賞者が記載されていませんでした。お詫びいたします。卓球女子 女子個人 石川史乃 ベスト8(新潟地区大会出場)

☆夏休み中の「体育祭活動」後のスクールバスが出ます。

→学校発(7/25・27、8/23~25) 15:10発, ※7月26日(水)のみ 14:50です。